

# 竜の子新聞

第15号

市政報告  
発行 **あらき竜二**  
倉敷市川入 641-5  
TEL & FAX : 086-434-8185  
http://www.ryu2.biz/  
e-mail: info@ryu2.biz

facebook

## 令和3年度11月補正予算の概要

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策や感染拡大の影響を受けた地域経済の活性化策など、早急に対応が必要な経費を中心に計上しています。補正予算の主な事業

## 一般会計補正予算11億9,800余万円の増額

【**感染症対策事業**】  
3億5,495万円  
新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、医療機関等で行うPCR検査や入院患者の医療費などの経費を追加します。  
【**災害備蓄品整備事業**】  
3,149万円  
避難所での感染症対策として、パーティション等を購入します。  
【**オンライン学習環境整備経費**】  
2,548万円  
感染症等により通学が困難となった児童生徒の家庭学習を支援するためのモバイルルータ等を追加で購入します。

## 【安心して過ごさせる観光地づくり推進事業】

1億6,500万円  
感染防止対策やビジネスモデル多様な等に取り組む宿泊事業者や文化観光施設、観光バス事業者に対して、経費の一部を助成します。

## 【観光誘客推進事業】

4,000万円  
令和4年度に予定されている瀬戸内国際芸術祭や岡山ステイネーションキャンペーンに向けて、ウィズコロナにおける新たな観光素材・サービス開発等に取り組む旅行者者等に対して、経費の一部を助成します。

## 【取組宣言飲食店応援事業】

1億4,500万円  
新型コロナウイルス対策取組宣言飲食店に岡山県飲食店感染防止対策第三者認証の取得を促すため、奨励金を給付します。

## 【倉敷観光プレミアムクーポン事業】

1,000万円

ワクチン接種済証やPCR検査陰性を示す結果証明等を提示して宿泊した人に対し、市内観光地周辺の飲食店や土産物店で使えるクーポン券を発行します。

## 【米販売農家次期作応援事業】

1億4,112万円  
コロナ禍で外食需要が停滞して米価下落の影響を受けた主食用米の販売農家に対し、次期の作付用種苗費等の一部を助成します。

## 【浸水対策事業】

2,850万円  
緊急自然災害防止対策として、松江生姫第2排水機場の改修等を行います。

## 【健康増進事業】

466万円  
マイナポータルで本人の健(検)診情報が閲覧可能となるよう、国のシステムと連携するための改修を行います。

## 【コミュニティ助成事業】

230万円  
コミュニティ組織(町内会等)が自主的に行うコミュニティ活動に必要な設備の整備に対して助成します。

## 【(仮称)倉敷学校給食共同調理場・防災備蓄倉庫整備運営事業】

債務負担行為  
99億8,000万円  
山陽ハイツ跡地を活用して、PH手法により(仮称)倉敷学校給食共

## H30年7月豪雨を上回る災害級の経費となった新型コロナウイルス対策費

事業	令和2年度決算 までの額	令和3年度10月 補正予算までの額	令和3年度11月 補正予算額
平成30年7月豪雨等 災害関連事業	467億6,287万円	34億670万円	2,000万円

(実績+予算)の累計 501億8,957万円

事業	令和2年度決算 までの額	令和3年度10月 補正予算までの額	令和3年度11月 補正予算額
新型コロナウイルス 感染症対策事業	555億9,311万円	115億3,351万円	10億6,143万円

(実績+予算)の累計 681億8,805万円

同調理場と防災備蓄倉庫を整備運営(維持管理)します。  
・整備期間  
令和4年9月～令和6年6月  
・共同調理場運営機関  
令和6年9月～令和21年7月  
・防災備蓄倉庫維持管理期間  
令和6年7月～令和21年7月

# 倉敷市庁舎等再編基本構想について

## 策定の背景とねらい

現在の本庁舎は、昭和55年に建築され、その後の行政サービスの拡大等により、狭くなり、会議室不足等をはじめとした機能面での課題を抱えています。また、本庁舎周辺には公共施設が複数立地しており、フアシリティマネジメントの観点から長寿命化や複合化などの再編について検討が必要となり、「倉敷市庁舎等再編計画検討委員会」を平成30年4月に設置しました。

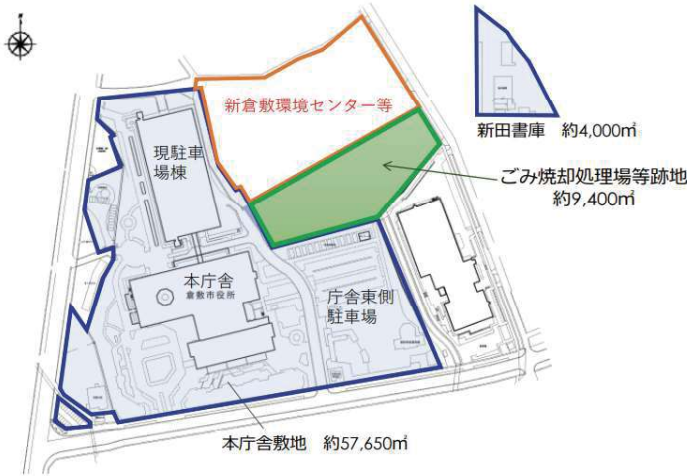
検討を行う中、平成30年7月、これまで倉敷市が経験したことのない未曾有の豪雨災害が発生したことから、災害への対応業務を優先し、検討作業を一時中断しましたが、この被災経験も踏まえ、拠点となる本庁舎の防災機能、災害対応機能の強化についても検討委員会における重点検討事項として位置づけました。

検討委員会は、全庁的に課題を整理するとともに、本市の防災・災害対応機能強化、老朽化した公共施設の複合化や、再配置等について協議検討を進め、50年後、100年後

のまちの姿を見据えながら、本庁舎を中心としたエリア全体が、今後も、広く市民のみならず親しまれ、また、安全・安心のまちづくりにつながるものとなる基本構想を策定しました。

## 対象エリア

基本構想における検討の対象エリアは、本庁舎敷地約57,650㎡と本庁舎東側約400mに位置する新田書庫の約4,000㎡に加え、白楽町ごみ焼却処理場等跡地の約9,400㎡



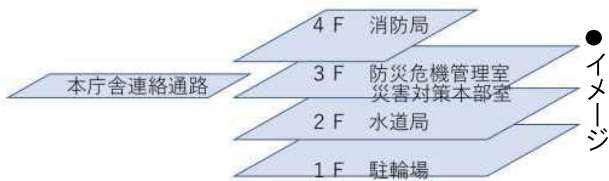
## 庁舎周辺の公共施設の位置



## 整備する機能

### ① 防災危機管理センター棟

防災・災害対応機能を強化するため、豪雨災害や地震が発生した際にも、災害対策本部が継続して業務を行うことが可能な防災機器管理センター棟を整備します。



### イメージ

階数	機能	用途
4	消防局 (消防総務課、警防課、予防課、危険物保安課)、共用部	消防局災害対策本部室、執務室、会議室、消防団室等
3	防災危機管理室 (危機管理課、防災推進課)、共用部	災害対策本部室 (マルチディスプレイ、ICT環境整備)、執務室、会議室等
2	水道局、共用部	執務室、会議室、更衣室等
1	エントランス、ピロティ、駐車場、共用部	

### 機能の配置(案)

階数	機能、用途
4	食堂、共用部分
3	会議室(憩の家、市民活動センター) 印刷室、事務所等 機械室、電気室等 共用部(階段・EV・廊下・便所等)
2	図書館 共用部(階段・EV・廊下・便所等)
1	エントランスホール 図書館 コンビニ、カフェ、ATM 共用部(階段・EV・廊下・便所等) 車椅子用駐車場

●機能の配置(案)

生涯学習や市民活動棟の拠点を整備するため、中央図書館、市民活動センター、中央憩いの家棟の複合化を行います。本庁舎厚生棟1階の食堂、コンビニ、本庁舎1階のATM機能を複合施設棟に移転することにより施設棟の魅力を高め、市民のみならず、快適で利便性の高い施設を整備します。

②複合施設棟

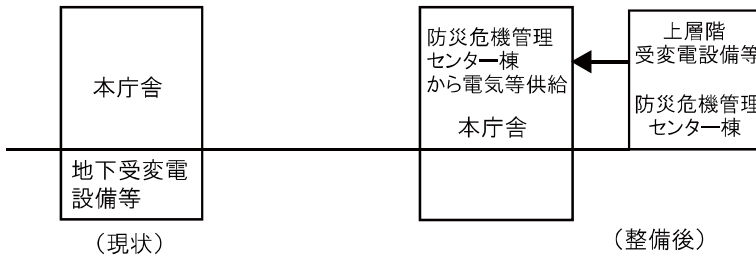
現在、本庁舎の電気・機械設備等(受変電設備、非常用発電機、受水槽、空調機器等)は老朽化のため、改修、更新が急務です。設備の故障や、浸水時の機能停止などの課題を踏まえ、危機管理の観点から、防災機器管理センター棟の上層階に電気・機械設備等を整備し、本庁舎へ送電を行うため、本庁舎は電気の配線、配管等の改修、更新、修繕などの長寿

③本庁舎の長寿命化

施設	方向性	備考
倉敷労働会館	複合化	引き続き手法等について検討
自然史博物館	移転建替	ライフパーク倉敷の敷地内へ移転
市立美術館	長寿命化	長寿命化工事

●本庁舎周辺の公共施設の検討の方向性

※現在、自然史博物館建物内に、設置されている観光休憩所、観光コンベンションビュローについては、倉敷美観地区周辺で適地を検討していきます。



(現状)

(整備後)

命化工事を実施します。受変電設備等を防災機器管理センター棟と一体的に整備することにより、浸水時も本庁舎の機能を確保します。

④1階市民窓口の適正配置と駐車場の拡充

水道局が防災機器管理センター棟に移転し、食堂、コンビニ、ATMコーナーが複合施設棟に移転することで、本庁舎に空きスペースが生まれます。その空きスペースを活用して、市民局、保健福祉局の部署を適正配置するとともに、不足している会議室等を整備することで、本庁舎1階の狭さの解消及び会議室不足等を改善します。これらの改善より、通路や市民待合スペース、相談スペースの確保が可能になり、市民のみならずの利便性向上や、部局間の連携強化、事務の効率化が期待できます。また、防災機器管理センター棟と複合施設等の整備に伴う、来庁者や公用車の駐車需要の発生により、新たな駐車場の整備が必要になると見込まれますが、必要な駐車台数について、今後、調査検討を行います。

スケジュール(案)

令和3年度から、駐車場需要調査や周辺道路の交通動態調査等、必要な調査を実施したうえで基本計画を策定し、配置計画や詳細な機能の検討を行い、より詳細な整備スケジュールについて検討を進めます。

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
基本計画	基本設計	実施設計	建設工事	
令和3年度基本計画策定にあたってのPF導入可能性調査等アドバイザー業務委託				

# 令和3年9月 倉敷市議会 一般質問

くらしき創生クラブ

荒木 竜二

## 庁舎等再編

### 基本構想について



庁舎等再編基本構想では、防災・災害対応の拠点となる防災危機管理センター棟を整備することを発表した。又、庁舎敷地内に、生涯学習や市民活動等の拠点となる複合施設棟を整備するとしており、中央図書館が庁舎周辺で複合施設として整備され、自然史博物館はライフパークに移転すると示された。倉敷市中央駐車場に隣接している中央図書館と自然史博物館の移転後、市営中央駐車場の整備についての考えは？



中心市街地の市営駐車場は、本年5月に市民会館駐車場を148台、7月にはあちてらす倉敷駐車場を193台整備している。今後、倉敷市中央駐車場については、駐車場の需給バランスの見直しや、中央図書館等の跡地利用の方針を考慮しながら検討していく。



「公共施設等適正管理推進事業債」の適用期間が今年度で終了の見込みのため、庁舎等再編基本構想における施設整備など、100億を超えると推察する事業を推進する際に、多大な財政負担が必要になり、将来世代に大きな

負担を残すことになる懸念している。施設整備に伴う財政負担について、市としてどのように考えているのか？



「公共施設等適正管理推進事業債」は、事業期間の延長について、国に要望を行っており、現在、総務省において、検討がされている。老朽化した公共施設の整備は、財政負担の平準化を図るとともに、財政的に有利な地方債の活用や、国の補助金、交付金など、引き続き活用可能な財政支援制度について検討を進める。

## 高梁川河川敷広場(グラウンド)の整備と運用について



豪雨が頻発する中で、高梁川河川敷の水江・西阿知・西原広場を今のグラウンドの状態で維持するのは無理がある。代替地を探し、既存の広場は、復旧費用が最小限に抑えられる施設に使用目的を変更して整備しては？



市街地での用地確保は難しいため、まずは河川敷内で、増水しても被災しにくい場所の調査を行う。現在の広場を存続させる場合は、土砂の流出を抑える保護方式のほか、多様な利活用についても研究する。

## JR山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業について



岡山県議会では、土地区画整理事業の遅れが連続立体交差事業のスケジュールに影響した旨の答弁

をされている。しかし、現在は、倉敷駅前東土地区画整理事業は完了し、倉敷駅周辺第二土地区画整理事業は、令和2年度に進捗率が事業費ベースで50%に達したところであり、また、倉敷駅南地区の活性化の核となる阿知3丁目東地区市街地再開発事業は、6月に建築工事が完了し、着実に進展している。倉敷駅周辺第二土地区画整理事業と一体的に取り組むとされている連続立体交差事業について、着手までのスケジュールと完成までに必要な期間は？

県からは現時点で具体的なスケジュールは示されていない。現計画では、着手から15年間の工期を想定されている。



連続立体交差事業と一体的に取り組むとされている倉敷駅とアリオ倉敷の間の都市計画道路、寿町八王寺線と伯備線の交差について、市の認識は？



寿町八王寺線の地下道化は区画整理事業と整合しないため、交差は連続立体交差事業に限られる。早期に都市計画決定がなされるよう取り組む。



早急に連続立体交差事業の事業化が図られるよう、県と市が一体となって、倉敷市のみならず高梁川流域圏の拠点となる倉敷駅周辺のまちづくりに取り組んでいただきたい。



早急に連続立体交差事業の事業化が図られるよう、県と市が一体となって、倉敷市のみならず高梁川流域圏の拠点となる倉敷駅周辺のまちづくりに取り組んでいただきたい。

## 『編集後記』

令和3年はなんとすさまじかった年であるうか。コロナの感染が収束しない中、1月には市議会の選挙があり、「三密」を避けての活動を余儀なくされました。今思えば、人にも自分にもコロナウイルスをうつしてはならないと思いつめていたように思います。8月にはコロナ濃厚接触者として、ほぼ1か月を過ごしました。妻の代わりに買って出た家事はなんと大変だったか。やることが尽きない。

1年をかけて人は少しずつコロナへの恐怖を抑え、冷静に対処していくようになったと感じます。今、私たちを取り巻く社会は「ウィズコロナ」です。突然、収入や人生の大切なものを失うコロナは誰の責任でもない。いつ、だれが「弱者」になるかわからない。だからこそ、困った人を見捨てない優しい社会になってほしいと願います。

私自身は今まで以上に市政に取り組む所存です。地域活性化など課題は山積みですが、力を尽くして励みたい。そしてライフワークの自然災害への対応について深く学びたいと思えます。

令和4年が皆様にとりまして輝かしい年になりますように。

あらかき竜二